令和 7 年度

年間授業計画

教科

7

科目 英語コミュニケーション皿

教 科: **外国語**対象学年組:第 3 学年

科 目: **英語コミュニケーション**III

単位数: 3 単位

外国語

 教科担当者:
 河内 裕貴子
 深津 香奈子
 宮嵜 美絵
 神沼 汐里

 BLUE MARBLE English Communication III(数研出版)

 使用教科書:

教科

外国語

の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や海面、状況などに応じて、美麗で概要や要点、静能、新し手や者を手の意面を尊重し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を乗う。

【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 **英語コミュニケーションⅢ** の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
を通して、科学技術者の育成を目指して、目的や場面、 状況などに応じて適切に英語を通してコミュニケーショ	て、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要	コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者としてコミュニケーションを図る態度を育てる。

					領垣	ŧ						配
	# 元 1 A Chance for Everyone to Shine 指導項目に対し、次の数材等を活用する 【知識及び技能】 ・指導事項 東本を読み取るために必要な語彙を理解し、それ。 を活用して信酬が国人について書かれた論証文を読 力、判断力、表現力】 ・ 教材書・副教材等 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 一人 1 台端末の活用(場面) リテリングをするために、在留所国人について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとす る。 2 Protecting Our Brains from Smartphones 【知識及び技能】 ・ 指導事項 「知識及び技能】 ・ 指導事項 「脳科学・心理】 「おおた論証文を読んで、希要や要点を捉えようとす 「知識及び技能】 ・ 指導事項 「脳科学・心理】 「アリングをするために、スマートフォンの使い過ぎの参离について書かれた論証文を読み取る技能を身に付ける。 「思考力、判断力、表現力】 ・ 教材 リテリングをするために、スマートフォンの使い過ぎの参照について書かれた論証文を読み取る技能を身に付ける。 「思考力、判断力、表現力】 ・ か材 リテリングをするために、スマートフォンの使い過ぎの参照について書かれた論証文を読み取る技能を身に付ける。 「学びに向かう力、人間性等】 ・ 一人 1 台端末の活用(場面) リテリングをするために、スマートフォンの使い過ぎの参照について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとする。 「学びに向かう力、人間性等】 ・ 一人 1 台端末の活用(場面) リテリングをするために、スマートフォンの使い過ぎの参照について書かれた論証文を読んで、概要や 第点を捉えようとする。 「知識及び技能】 ・ 指導項目に対し、次の教材等を活用する 「知識及び技能】 ・ 指導事項 「文化・環境」 「記書力、判断力、表現力】 ・ 教材 リテリングをするために、「包装」の文化の今昔について書かれた論証文を読んで、概要や写点を捉え 教科書・副教材等 ・ 一人 1 台端末の活用(場面) リテリングをするために、「包装」の文化の今昔について書かれた論証文を読んで、概要や写点を捉え カーー人 1 台端末の活用(場面) リテリングをするために、「包装」の文化の今昔について書かれた論証文を読んで、概要や写点を捉え カーー人 1 台端末の活用(場面) リテリングをするために、「包装」の文化の今昔について書かれた論証文を読んで、概要や写点を捉え カーー人 1 台端末の活用(場面) リテリングをするために、「包装」の文化の今昔について書かれた論証文を読んで、概要や写点を捉え カーー人 1 台端末の活用(場面) リテリングをするために、「包装」の文化の今昔について書かれた論証文を読んで、概要で明点を捉え カーー人 1 台端末の活用 (場面)	聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	当時数	
	単 元 1 A Chance for Everyone to Shine	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	を活用して在留外国人について書かれた論証文を読	【国際・人権】						①文章を読み取るために必要な語彙を理解する。② 語彙を活用して在留外国人について書かれた論証文を 読み取る技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	· 教材			0			【思考力・判断力・表現力】				10
		教科書・副教材等					0	リテリングをするために、在留外国人について書かれ た論証文を読んで、概要や要点を捉えている。	-			10
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	-					【学びに向かう力、人間性等】				
	れた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとす	リソースの調査						リテリングをするために、在留外国人について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。	,			
	単 元 2 Protecting Our Brains from Smartphones	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	を活用してスマートフォンの使い過ぎの弊害につい	【脳科学・心理】						①文章を読み取るために必要な語彙を理解する。② 語彙を活用してスマートフォンの使い過ぎの弊害について書かれた論証文を読み取る技能を身に付けている。	,			
	【思考力、判断力、表現力】	教材						【思考力・判断力・表現力】				40
	ぎの弊害について書かれた論証文を読んで、概要や	教科書・副教材等			0	0	0	リテリングをするために、スマートフォンの使い過ぎ の弊害について書かれた論証文を読んで、概要や要点 を捉えている。				10
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】				
	ぎの弊害について書かれた論証文を読んで、概要や	リソースの調査						リテリングをするために、スマートフォンの使い過き の弊害について書かれた論証文を読んで、概要や要点 を捉えようとしている。				
1 学	定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説								0	0		
子 期	単 元 3 Wrapping: Reinventing a Cultural Tradition	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
, ,,	【知識及び技能】	• 指導事項						【知識及び技能】				
	を活用して「包装」の文化の今昔について書かれた	【文化・環境】						①文章を読み取るために必要な語彙を理解する。② 語彙を活用して「包装」の文化の今昔について書かれた論証文を読み取る技能を身に付けている。	,			
	【思考力、判断力、表現力】	· 教材				0		【思考力・判断力・表現力】		0	0	40
	ついて書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉え	教科書・副教材等		0	0		0	リテリングをするために、「包装」の文化の今昔について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えている。)			10
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】				
	ついて書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉え	リソースの調査						リテリングをするために、「包装」の文化の今昔について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。				
	単 元 4 Paving the Way to a More Inclusive Society	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				

年間授業計画

科目 英語コミュニケーション皿

対象学年組:第 3 学年

科 目: 英語コミュニケーション皿

外国語 単位数: 3 単位

教科担当者:		河内	裕貴子		深津	香奈子		宮嵜	美絵	神沼	汐里		
使用教科書:	BLUE M	ARBLE	English	Commun	ication	1 Ⅲ(数	研出版)						

教科

外国語

の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、美語で無要や要点、詳細、話し手や者を手の意図を尊重し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

英語コミュニケーションⅢ の目標: 科目

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
を通して、科学技術者の育成を目指して、目的や場面、 状況などに応じて適切に英語を通してコミュニケーショ	て、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要	コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者としてコミュニケーションを図る態度を育てる。

					領垣	ŧ						配		
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	317		
	【知識及び技能】	• 指導事項						【知識及び技能】						
I	文章を読み取るために必要な語彙を理解し、それら を活用して点字ブロックについて書かれた論証文を 読み取る技能を身に付ける。	【社会・福祉】						①文章を読み取るために必要な語彙を理解する。② 語彙を活用して点字ブロックについて書かれた論証文 を読み取る技能を身に付けている。						
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	0	0	0	0		0		【思考力・判断力・表現力】	0			10
	リテリングをするために、点字ブロックについて書 かれた論証文を読んで、概要や要点を捉える。	教科書・副教材等	0							リテリングをするために、点字ブロックについて書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えている。	-			10
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】						
ŀ	リテリングをするために、点字ブロックについて書 かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとす る。	リソースの調査						リテリングをするために、点字ブロックについて書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。						
	定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説								0	0		2		

令和 |年度 外国語

年間授業計画

教科

科目 <mark>英語コミュニケーションⅢ</mark>

第 3 学年 対象学年組:

科 目: 英語コミュニケーション皿

3 単位数: 単位

外国語

教科担当者 河内 裕貴子 深津 香奈子 宮嵜 美絵 神沼 汐里 BLUE MARBLE English Communication 亚(数研出版) 使用教科書

教科

教科:

外国語

の目標:

及び技能] 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の義きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。 【知 識

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、美語で無要や要点、詳細、話し手や書き手の意面を尊重し、これらを活用して違切に表現したり伝えあったりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

英語コミュニケーション**皿** の目標 科目

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 間くこと、読むこと、話すこと(やり取り、発表)、書くことを通して、科学技術者の育成を目指して、目的や場面、 状況などに応じて適切に英語を通してコミュニケーションできる技能を身につける。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じ て、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要 や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解 を図る態度を育てる。 し、適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

					領域	ţ						配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	गर
	単元 5 Discovering Your Answers Through Art Thinking	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	文章を読み取るために必要な語彙を理解し、それら を活用して「アート思考」について書かれた論証文 を読み取る技能を身に付ける。	【自己啓発・芸術】						①文章を読み取るために必要な語彙を理解する。② 語彙を活用して「アート思考」について書かれた論証 文を読み取る技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	· 教材		0				【思考力・判断力・表現力】				10
	リテリングをするために、「アート思考」について 書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉える。	教科書・副教材等					0	リテリングをするために、「アート思考」について書 かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えている。	_			10
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)		000				【学びに向かう力、人間性等】				
	リテリングをするために、「アート思考」について 書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようと する。	リソースの調査						リテリングをするために、「アート思考」について書 かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとして いる。				
	単 元 6 Super Sniffers Saving the World	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	-					【知識及び技能】				
	文章を読み取るために必要な語彙を理解し、それら を活用して動物の能力について書かれた論証文を読 み取る技能を身に付ける。	【生物・科学】		0 0 0				①文章を読み取るために必要な語彙を理解する。② 語彙を活用して動物の能力について書かれた論証文を 読み取る技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	教材						【思考力・判断力・表現力】				40
	リテリングをするために、動物の能力について書か れた論証文を読んで、概要や要点を捉える。	教科書・副教材等	0			O	0	リテリングをするために、動物の能力について書かれ た論証文を読んで、概要や要点を捉えている。	-	0	0	10
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】				
	リテリングをするために、動物の能力について書か れた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとす る。	リソースの調査						リテリングをするために、動物の能力について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。				
2 学	定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説								0	0		2
期	単 元 7 Perceptions of Time in Different Cultures	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
, , ,	【知識及び技能】	• 指導事項	-					【知識及び技能】				
	文章を読み取るために必要な語彙を理解し、それら を活用して文化と時間の感覚の関係性について書か れた論証文を読み取る技能を身に付ける。	【異文化・国際】						①文章を誘み取るために必要な語彙を理解する。② 語彙を活用して文化と時間の感覚の関係性について書かれた論証文を読み取る技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	教材						【思考力・判断力・表現力】				40
	リテリングをするために、文化と時間の感覚の関係 性について書かれた論証文を読んで、概要や要点を 捉える。	教科書・副教材等	0			0	0	リテリングをするために、文化と時間の感覚の関係性 について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉え ている。	_			10
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】				
	リテリングをするために、文化と時間の感覚の関係 性について書かれた論証文を読んで、概要や要点を 捉えようとする。	リソースの調査						リテリングをするために、文化と時間の感覚の関係性 について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉え ようとしている。]	
	単 元 8 The Thawing Permafrost: Earth's Warning Call	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				

 令和
 7
 年度

 教科:
 外国語

年間授業計画

教科

科

科目 英語コミュニケーション皿

対象学年組:第 3 学年

科 目: 英語コミュニケーションⅢ

単位数: 3 単位

外国語

教科担当者: 河内 裕貴子 深津 香奈子 宮嵜 美絵 神沼 汐里 BLUE MARBLE English Communication 亚(数研出版) 使用教科書:

教科

外国語

の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の奏きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、美語で無要や要点、詳細、話し手や書き手の意面を尊重し、これらを活用して違切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 **英語コミュニケーション皿** の目標

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 聞くこと、腕むこと、話すこと(やり取り、発表)、書くこと を通して、科学技術者の育成を目指して、目的や場面、 状況などに応じて適切に英語を通してコミュニケーション 大況などに応じて適切に英語を通してコミュニケーションを開発をといる。 できる技能を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律 的に英語を使って、科学技術者としてコミュニケーション や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解 し、適切に表現したり伝えあったりする力を養う。 を図る態度を育てる。

					領垣	ţ						画
	単元の具体的な指導目標	 ・指導事項 【環境・自然】 ・教材 教科書・副教材等 ・一人 1 台端末の活用(場面) 	聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	
	【知識及び技能】	• 指導事項	0					【知識及び技能】				
I	文章を読み取るために必要な語彙を理解し、それら を活用して永久凍土の融解とその影響について書か れた論証文を読み取る技能を身に付ける。	【環境・自然】						①文章を読み取るために必要な語彙を理解する。② 語彙を活用して永久凍土の融解とその影響について書 かれた論証文を読み取る技能を身に付けている。	:			
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				0	0	【思考力・判断力・表現力】	0		0	
l	リテリングをするために、永久凍土の融解とその影響について書かれた論証文を読んで、概要や要点を 捉える。	教科書・副教材等						リテリングをするために、永久凍土の融解とその影響 について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉え ている。	ľ			
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】				
I	リテリングをするために、永久凍土の融解とその影響について書かれた論証文を読んで、概要や要点を 捉えようとする。	リソースの調査						リテリングをするために、永久凍土の融解とその影響 について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉え ようとしている。				
	定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説								0	0		

令和 |年度

年間授業計画

教科

科目 <mark>英語コミュニケーションⅢ</mark>

教科: 外国語 第 3 学年 対象学年組:

科 目: 英語コミュニケーション皿

外国語 3 単位数:

単位

教科担当者 河内 裕貴子 宮嵜 美絵 深津 香奈子 神沼 汐里 BLUE MARBLE English Communication 亚(数研出版) 使用教科書

教科

外国語

の目標:

及び技能] 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の舞きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。 【知識

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や帰面、状況などに応じて、美閣で概要や要点、瞬間、新し手や音を手の意図を尊重し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 英藤の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

英語コミュニケーション**皿** の目標 科目

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 間くこと、読むこと、話すこと(やり取り、発表)、書くことを通して、科学技術者の育成を目指して、目的や場面、 状況などに応じて適切に英語を通してコミュニケーションできる技能を身につける。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じ て、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要 や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解 を図る態度を育てる。 し、適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

				領垣	ţ						配
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	312
単 元 9 How We Are Influenced by Advertising	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
文章を読み取るために必要な語彙を理解し、それら を活用して広告の影響について書かれた論証文を読 み取る技能を身に付ける。	【日常・経済】						①文章を読み取るために必要な話彙を理解する。② 話彙を活用して広告の影響について書かれた論証文を 読み取る技能を身に付けている。	Ē			
【思考力、判断力、表現力】	・教材						【思考力・判断力・表現力】				
リテリングをするために、広告の影響について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉える。	教科書・副教材等	0			0		リテリングをするために、広告の影響について書かれ た論証文を読んで、概要や要点を捉えている。	-		0	
【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】				
リテリングをするために、広告の影響について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとする。	リソースの調査						リテリングをするために、広告の影響について書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。	ι			
単 元 10 What Makes a Virtual Community?	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				T
【知識及び技能】	指導事項						【知識及び技能】				
文章を読み取るために必要な語彙を理解し、それら を活用して仮想コミュニティについて書かれた論証 文を読み取る技能を身に付ける。	【科学技術・社会】	0					①文章を読み取るために必要な語彙を理解する。② 語彙を活用して仮想コミュニティについて書かれた訓証文を読み取る技能を身に付けている。	Á			
【思考力、判断力、表現力】	教材						【思考力・判断力・表現力】				
リテリングをするために、仮想コミュニティについ て書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉える。	教科書・副教材等		0	0	0	0	リテリングをするために、仮想コミュニティについて 書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えている。	5			
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)						【学びに向かう力、人間性等】				
リテリングをするために、仮想コミュニティについ て書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えよう とする。	リソースの調査						リテリングをするために、仮想コミュニティについて 書かれた論証文を読んで、概要や要点を捉えようとし ている。				
単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				t
【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	_					【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かうカ、人間性等】	・一人 1 台端末の活用(場面)	_					【学びに向かう力、人間性等】				
単 元 【知識及び技能】	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	-					次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材						【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用(場面)	1					【学びに向かう力、人間性等】				

 教科担当者:
 河内 裕貴子
 深津 香奈子
 宮嵜 美絵
 神沼 汐里

 BLUE MARBLE English Communication 面(数研出版)

 使用教科書:

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、評価、新し手や書き手の意画を享重し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
を通して、科学技術者の育成を目指して、目的や場面、 状況などに応じて適切に英語を通してコミュニケーショ	て、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要	コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者としてコミュニケーション を図る態度を育てる。

				領域							配
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	117
定期考査(学年末考査)/返却と解説								0	0		2